



PRESS RELEASE

2021年2月15日

共和薬品工業株式会社

ジェネリック医薬品3成分7品目の製造販売承認取得のお知らせ

共和薬品工業株式会社(大阪府大阪市、代表取締役社長:角田礼昭)は、2021年2月15日に、ジェネリック医薬品3成分7品目の製造販売承認を取得しましたので、お知らせいたします。3成分のうち、デュロキセチン、エスゾピクロンの2成分は、ジェネリック医薬品として初めて承認された有効成分となります。

【製造販売承認取得製品一覧】

販売名	薬効分類名	先発品名
デュロキセチンカプセル 20mg「アメル」	セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤	サインバルタ®カプセル 20mg
デュロキセチンカプセル 30mg「アメル」		サインバルタ®カプセル 30mg
エスゾピクロン錠 1mg「アメル」	不眠症治療薬	ルネスタ®錠 1mg
エスゾピクロン錠 2mg「アメル」		ルネスタ®錠 2mg
エスゾピクロン錠 3mg「アメル」		ルネスタ®錠 3mg
ラモトリギン錠小児用 2mg「アメル」 (含量規格追加)	抗てんかん剤	ラミクタール錠小児用 2mg
ラモトリギン錠小児用 5mg「アメル」 (含量規格追加)		ラミクタール錠小児用 5mg

◆ 共和薬品工業株式会社について

共和薬品工業株式会社(以下 共和薬品)は、1954年に創業、CNS(中枢神経系)領域に焦点を当て「アメル」ブランドのジェネリック医薬品を中心に事業を拡大してきました。また2016年には塩野義製薬から販売移管した長期収載品、2017年からはアステラス製薬の委託を受けた双極性障害のうつ症状治療薬の新薬販売へと、ジェネリック医薬品に加え、長期収載品、そして新薬を総合的に提供することでCNS領域での更なる展開を進めています。

共和薬品は新経営ビジョン「CNS トータルソリューションカンパニーを目指して」を掲げ、CNS領域を中心に、医薬品にとどまらない製品・サービスの提供を通じて、患者さんとそのご家族、医療従事者の皆さん、そして社会に貢献できる企業を目指し、様々な挑戦をしております。2019年3月期の売上は282億円です。

本件に関するお問い合わせ:

共和薬品工業株式会社 社長室

TEL:06-6121-6715 FAX :06-6121-2858

(<http://www.kyowayakuhin.co.jp/>)